

令和7年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※ハイフレックス型

研修名	教育評価の新たな地平					
資質向上に関する指標（文科省）	学習指導 ICT や情報・教育データの利活用		プログラム指標 （しまだい）	授業デザイン		
キャリアステージ	自立・向上期（ 1～10 年目）	○	研修レベル	基礎（学部 1・2 年レベル）		
	探究・発展期（10～20 年目）	○		応用（学部 3・4 年レベル）		○
	充実・円熟期（20 年目以降）	○		発展（大学院レベル）		
開設日	令和 7 年 8 月 2 0 日（水）		履修認定時間数	6 時間	受講定員	30 名
会場（対面）	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校 前期課程に併設）		所在地	島根県松江市大輪町 416-4		
授業形態	講義、演習		対象校種	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校（対象校種外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含みます。）		
実施方法	対面（集合型）または YouTube Live 視聴（オンライン非同期型）のいずれかを選択）		対象教科	全教科		
			対象職種	広く学校教育関係者		
担当講師	ふかみ としたか 深見 俊 崇（島根大学教育学部 教授）					
研修内容	本研修は、評価について再考したり新たな可能性を追究したりすることをねらいとする。「評価のデザイン」と「理論と実践との接続」を主なテーマとして、現在求められる学習と評価を再確認しつつ、今後求められる学習と評価のあり方について受講者と共に検討していく。					
日 程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時 間		内 容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	8：40～ 9：00		受付			
	9：00～ 9：10		オリエンテーション ※YouTube Live 配信開始			
	9：10～10：40		5W1H の視点を踏まえた評価のデザイン			
	10：40～12：00		現在日本において求められる評価のあり方			
	13：00～14：30		諸外国の研究知見を踏まえた評価のあり方			
	14：30～16：00		真正の評価の登場背景とその実践例			
	16：00～16：15		「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時			
研修に関して各自準備するもの	（対面で受講する場合） ・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。					
	（YouTube Live 視聴で受講する場合） ・YouTube Live が視聴できるようパソコン、ネット環境の準備をお願いします。 ・YouTube Live の URL、研修中の質問フォームの URL、研修課題入力用の書式、課題提出用フォームの URL、実施後アンケートの回答フォームの URL 及び講義資料は教師教育研究センターホームページより入手してください。その際のホームページの URL 及びパスワードは受講決定後お知らせします。					
事前課題	・特になし					
その他	・YouTube Live 視聴で受講された方は、研修課題は課題提出用フォームにアップロードし、実施後アンケートは回答フォームに入力し、送信してください。 ・YouTube で配信された動画は、配信日を含めて 3 日間、視聴することができます。 ・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 t-fukami@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 ・対面で受講される方の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。					